

各種大会・日本リーグおよび各種イベントの参加にあたっての周知事項（JSA）

国内ではそれぞれの組織・団体が動きだしており、政府が示している社会・経済活動と感染予防は必要な行動としています。ただ、世界を始め、日本でも感染者の増加が続いているのも事実です。コロナ禍における不要不急の外出自粛やテレワーク（在宅勤務）、そして学校現場では部活自粛やリモート授業など孤独化することによるストレスも問題視されています。そのような環境下少しでも前向きになれるよう感染拡大の予防に努めながら少しでも前に動くことがスポーツ団体にとって必要な行動だと信じ再開に向けて準備しています。

ソフトボール愛好者の皆様におかれましては、既に『新しい生活様式』は日常化しているかと思いますが今後各種イベントに参加される方々には以下の周知事項を熟読の上、ご参加ください。

【周知したい「感染予防対策」について】

①各種大会・日本リーグ・各種イベント開始14日前からの注意点

※日常の『手洗い・手指消毒』『咳エチケットの徹底』『こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）』『身体的距離の確保』『3密の回避（密集、密接、密閉）』『毎朝の体温測定、健康チェック』『発熱または風邪の症状がある場合は外出せず最寄保健所に確認の上自宅で療養』『接触確認アプリ（COCOA）の活用』の徹底

※日常生活の中での『宴会』『食事会』など不特定多数および大人数での会食は極力避けること、やむを得ず少人数の会食等に参加する場合にはお店の感染予防対策の整備状況を十分確認し参加すること

②各種大会・日本リーグ・各種イベント期間中の注意点

※①と合わせて、期間中で特に注意しなければならない点について

※宿泊施設や目的地までの移動中など生活上の『手洗い・手指消毒、ソフトボール用具・用品の消毒』『宿泊施設内で密集しそうな場所（フロント、レストラン、ランドリーなど）でのマスクの着用、身体的距離の確保、時差による行動』『食事はデリバリー、屋外空間で気持ちよく、対面ではなく横並びで座る、会話は控えめに』『宿泊施設内で狭い部屋での選手やチーム関係者同士での長居、雑談はしないこと』

※練習や試合前後でミーティングを行う場合は、風通しの良い環境で短時間で終えること

※特に多目的広場などにおける競技会時の観戦者への注意喚起については、政府や専門家の発表や意見を参考に感染予防策の再認識（『マスクの着用』『身体的距離の確保』『3密の回避（密集、密接、密閉）』『大きな声を出さない』など）が重要とし競技会期間中の場内放送や掲示、そして見回り声掛けにより観戦者に対して協力を求めること

③各種大会・日本リーグ・各種イベント終了14日後までの注意点

※日常の『手洗い・手指消毒』『咳エチケットの徹底』『こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）』『身体的距離の確保』『3密の回避（密集、密接、密閉）』『毎朝の体温測

定、健康チェック』『発熱または風邪の症状がある場合は外出せず最寄保健所に確認の上自宅で療養』『接触確認アプリ（COCOA）の活用』の徹底

※日常生活の中での『宴会』『打ち上げ』など不特定多数および大人数での会食は極力避けること、やむを得ず少人数の会食等に参加する場合にはお店の感染予防対策の整備状況を十分確認し参加すること

④上記①～③の対象者とは、選手およびチームスタッフ、主管協会（競技役員、運営委員）、主催者（派遣役員、競技役員）など、そして対象者の家族を含む身近な関係者をいう。

最後に

『自ら感染しない、感染させないように一人一人が注意をした日常を』

『特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方が身近にいる場合は特別に注意した日常を』

『感染した人が身近にいても決して誹謗中傷や差別することなく痛みを感じられる日常を』

是非とも、ソフトボール愛好者の皆様のご理解ご協力をいただけますよう切にお願いします。

公益財団法人日本ソフトボール協会